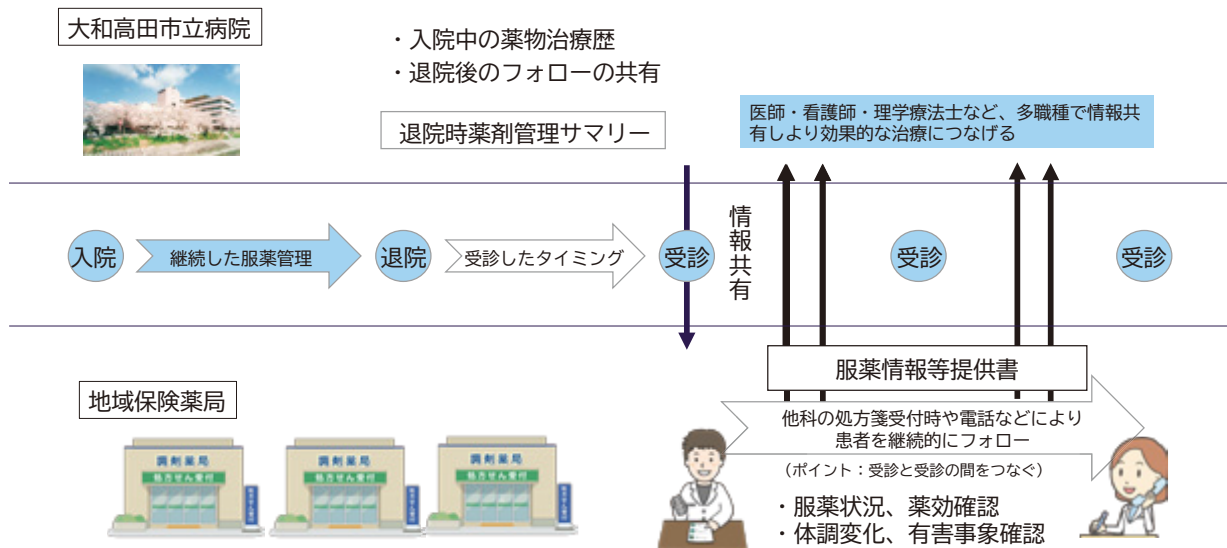


いま、市立病院では

Now, at the municipal hospital

継続した薬物療法を提供するための保険薬局薬剤師と連携強化の取り組み

切れ目のない薬物治療を実現するための薬薬連携



当院薬剤部では、令和4年8月に大和高田市・葛城市薬剤師会の協力のもと、薬薬連携企画部会を立ち上げました。「薬薬連携」とは、病院薬剤師と保険薬局薬剤師が連携することで、お薬を共通言語として患者さんの情報を共有し、安心できる薬物療法を継続して提供する体制のことです。病院と保険薬局が同じチームとなり地域全体で薬物治療のサポートが可能となる仕組み作りを行なっています。病院では入院中に行なった薬物療法の状況を退院時薬剤情報として保険薬局と共有を行ないます。保険薬局では次回の受診日までの間に患者さん本人または家族に服薬管理の状況や体調の変化を聞き取り、得た情報を病院へ共有し、切れ目のない薬物治療を提供する取り組みです。市民の皆さんに安心して薬物治療を受けてもらえるよう、今後も地域の保険薬局と連携してより質の高い薬物療法を提供していきたいと考えています。

市立病院 薬剤部 薬剤室室長 涌田泰行



新任医師の紹介

原 知里 (はら ちさと)

令和5年7月から大和高田市立病院で勤務させていただいております、原知里と申します。消化器領域を中心とした外科治療を専門にしています。学生時代に実習でお世話になった病院で、この度勤務させていただけることになり、大変嬉しく思います。大和高田市は馴染みのある地域であり、市民の皆様により良い医療が提供できるよう日々精進してまいります。宜しくお願いいたします。

市立病院 (☎53-2901)